

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	・野菜、花の栽培	1年	・草花を育て自然に親しむ。 ・野菜を育て食育に関わる。	計画通り実施できた。	3
	・野菜や花の栽培と観察	2年	・栽培活動を通して、自然を大切に作る心の育成。	自然を大切にする心が育ちつつある。	3
	・カイコの飼育と観察 ・野菜や花の栽培と観察	3年	・飼育活動を通して、命を大切に作る心の育成。 ・栽培活動を通して、自然保護を考える。	・カイコの世話を親身に行い、命の尊さを学んだ。 ・自然保護の心が芽生えつつある。	2
	・環境事業センター、 ごみ選別処理施設、 最終処分場の見学 ・寒川浄水場の見学 ・理科の栽培活動	4年	・ごみについて考え、削減の実行を始める。 ・飲み水ができる過程を学習し水の大切さを実感する。 ・植物の生長や自然に興味を持つ。	・ごみ減量の方策を考え、できることを始めている。 ・何気ない水のありがたさを感じた。 ・育てる工夫を考え、植物の立場に立つことができた。	2
	・田んぼ造りと稲作り ・野菜や花の栽培と観察 ・メダカの飼育と観察 ・自動車工場の見学	5年	・稲作を体験し、食物の大切さを身をもって理解する。 ・栽培と観察そして、メダカの飼育から命のつながりを理解し、命の尊さを学ぶ。 ・工場内の環境に対する配慮を理解し生活に活かす。	・お米ができるまでの苦勞を痛感し、食物の大切さを理解した。 ・植物と動物に共通する命のつながりを理解し、命の尊さを学んだ。 ・工場内の環境に対する配慮を知り、日常に活かすことができた。	2
	・ジャガイモの栽培と観察 ・国語「ともに生きる町」の学習	6年	・植物や生き物が生息できる環境を調べ、自然に親しむ。 ・光合成を学ぶ。 ・読解を通して、環境の大切さを学ぶ。	・体験、読み物、科学的な思考等様々な方向からの自然環境、環境保護について学ぶことができた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	・節電の取り組み	全学	・春から夏にかけての教室の窓側と廊下、階段、トイレの消灯	・予定通り実施できた。	3
	・無駄な電力を使わない活動	全学	・教室移動の際の消灯 ・待機電力を0にする。	・徹底できなかった。	2
	・泡のハンドソープや石鹸の節約	全学	・泡式石鹸の使い方の徹底	・保健委員会の児童が各教室で説明したが、十分に徹底できなかった。	1
捨てるごみを減らす活動	・使用済みの紙類の回収	全学	・使用済みの紙や段ボールを回収しリサイクルにだす。	・予定通り実施できた。	3
	・落ち葉を腐葉土化する活動	全学	・落ち葉を清掃後回収し。腐葉土として土に返す。	・放射線の問題のため、落ち葉は燃やせるごみとして処理した。	1
その他(自由)	・牛乳パックの回収と資源化	全学	・牛乳パックを洗って乾かし紙資源として回収する。	・予定通り実施できた。	3
	・緑のカーテン	全学	・地球温暖化防止、節電などに関心を持つ。	・地球温暖化防止に興味、関心が持てた。	2
	・シュレッダーごみの回収	職員	・シュレッダーごみの回収と資源化。	・予定通り実施できた。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成 25 年度

学校名：茅ヶ崎市立鶴嶺小学校

取り組み 項目	主な活動内容	実施 学年	目的	実施状況	評価点
環境に ついて の学習	育てよう (アサガオ・サツマイモ・ チューリップ)	1	身近な自然や動植物との触 れ合いを通して、自然に対す る思いや感性を養う	実施	3
	秋の虫を探そう (虫捕り、飼育、観察)	1	〃	実施	2
	秋の実を使って楽しもう (木の実探し、木の実拾い)	1	〃	実施	2
	トウモロコシミニトマトを 育てる	2	野菜の栽培を通して自然の 中で作物を育てることの大 切さを体感させる。	実施	2
	小出川自然観察	2	小出川の植物や虫などの観 察を通して自然に対する思 いや感性を養う。	実施	2
	小出川自然観察	3	コンクリートで固められて いない自然の川の生態系の 豊かさに気付く。	実施	3
	環境事業センター見学	4	施設の仕組みやそこで働く 人々の努力や工夫を理解す る。	実施	3
	浄水場、下水処理場の見学	4	人々が使っている水が、どの ように送られ、処理されるの かを理解する。	実施	2
	環境問題について児童一人 一人が調べたい課題を選 び、図書室やインターネット で調べ、発表し学び合う。	5	環境問題に興味関心を高め、 調べ学習を通して、司会を深 めると共に、友だちの発表を 聴く中で、環境問題の願 いや、自分たちができること について考える。	実施	3
	地球にやさしい消費者にな るために ・エコライフ度チェック ・環境クイズに挑戦しよう	6	環境問題は日常の暮らしと 深いかわりあることを知 る。	実施	2

環境について の学習	地球の環境と日本 ・環境破壊の進む日本 ・地球環境を守る動き ・自然保護活動 ・京都議定書	6	環境破壊を止める動きが国際的に広がっている。各国が協力して対処しなければならないことに気付く。	実施	3
	生き物と自然環境 ・生き物と空気 ・生き物と水 ・生き物と食べ物 ・環境を守る私たちの生活	6	調べ学習を通して興味関心を高め、地球環境を守っていかこうとする気持ちを強く持ち実践していくことができるようにする。	実施	3
電気、水、物を大切に 使う活動	水道の水を出しっぱなしにしない	全校	身近な取り組みを通して環境問題への意識を高めると共に、自分たちにできることを実践しようとする態度を育てる。	実施	3
	使っていない教室の電気をこまめに消す。	全校	〃	実施	3
	持ち物に名前を書いて大切に にする。	全校	〃	実施	2
	ノートや鉛筆などの文房具は最後まで大事に使う。	全校	〃	実施	3
捨てる ごみを 減らす 活動	給食の牛乳パックを洗って、リサイクルに出す。	全校	〃	実施	3
	給食は食べられる量にして残さないようにする。	全校	〃	実施	2
	プリントや紙などをごみとして捨てない。	全校	〃	実施	2

※評価点：・よくできたー3 ・大体できたー2 ・あまりできなかったー1

(様式5)

全校環境活動報告書

平成25年度

学校名: 茅ヶ崎市立松林小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	草花や野菜を育てよう	全学年	自然に触れ、自然の大切さを知る。肥料作り、土作りを通して、食物連鎖を学ぶ。	自然に触れ、体験を通して自然の大切さを知ることができた。	3
	米作り	全学年	地域の特徴を生かした栽培活動を通して、地域の環境を守る態度を育む。	稲を育てることで、自然に対する思いや感性を養い、食料の大切さに気付くことができた。	3
	地球の環境問題について関心を持ち学習する。(水資源・電気・下水・ごみ)	4年	限りある資源を大切に使い、ゴミを減らし、節水等実践する態度を育む。	資源を大切に使い、ゴミの減量・節水等を心がけることができた。	2
	住みよい暮らしと環境について関心を持ち実践する。	5・6年	よりよい生活ができるよう生活を見直し、自分たちができる生活環境の改善を行う。	家庭科などを通して、生活の見直し、改善等が図れた。	3
	赤羽根山に行き自然と触れ合う。	1・2年 仲よし	自然と触れ合い、自然のおもしろさ、不思議さを感じ、自然を知る。	実際の体験を通して、自然と触れ合うことができた。	3
	花壇づくりや飼っている動植物の世話をする。	全学年	学校の環境づくりをし、心を豊かにする。	各学級や児童委員会で年間を通して活動を行い、よりよい環境作りを心がけた。	3
	要らなくなった物を利用し、作品作りをする。	1・2・3年	物をリサイクルし、有効利用し物を大切にする心を育む。	まだ使えるものを捨てずに有効利用し、ものの大切さを知ることができた。	2
大切に・使う・物を	使っていない教室やトイレの照明をこまめに消す。	全学年	資源を大事にする。	不在場所の消灯を各学級で指導し、つけっぱなしが減った。	2
	水道の使用後は、蛇口をしっかり閉める。	全学年	資源を大事にする。	各学級で指導を行った。また、当番職員が校内巡回時チェックをした。	3
	コピー・印刷は、必要最小枚数とし、両面刷りにする。	全学年	資源を大事にする。	全体の使用枚数が減った。また、裏紙再利用も行うことができた。	2
	持ち物には、名前を書き、最後まで大切に使う。	全学年	資源を大事にする。	児童委員会で全校に呼びかけをした。また、授業参観等では展示を行った。	2
	給食の牛乳パックを洗う時は、できるだけ少ない水で洗う。	全学年	牛乳パックの資源ごみ回収と、使用する水の量について考え資源を大事にすることを学ぶ。	必要最小限の水を使うよう各学級で指導を行った。	3
減らすゴミを	ゴミは分別収集をし、リサイクルする。	全学年	資源を大事にする。	茅ヶ崎市のゴミ処理方法に従い、分別を徹底した。	2
	給食の食べ残しをしないようにする。	全学年	好き嫌いを無くすことにより、資源を大事にする。	完食表彰などを行い、残食量を減らすことができた。	2
(その他)	牛乳パックのリサイクル	全学年	ゴミの削減、資源の有効利用。	すべて回収し再利用した。また、牛乳パックベルマーク運動に参加した。	3
	インクカートリッジ回収事業	全学年	ゴミの削減、資源の有効利用。ベルマークポイント取得。	保護者の協力で多数回収できた。	3

※評価点 ・よくできた-3 ・大体できた-2 ・あまりできなかった-1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立西浜小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	アサガオ・チューリップ・サツマイモを育てる。	1年	身近な植物を育てることを通して、自然を大切にする気持ちを養う。	概ね実施できた。	2
	ミニトマト・サツマイモ・野菜を育てる。	2年	野菜を育てる活動を通して、自然とふれあい、自然を大切にする気持ちを養う。	概ね実施できた。	2
	オクラを育てる。 植物のつくりを調べる。	3年	種や花の観察を通して、自然のすばらしさを知り、自然の知恵を学ぶ。	概ね実施できた。	2
	稲を育て、米を作る。	5年	体験を通して、作物を育てる環境や食環境に対する意識を育てる。	地域の方の支援をいただき、大変よく実施できた。	3
	ゴーヤを育て、緑のカーテンとして利用する。	1年 仲よし	自然の恵みに感謝する気持ちを養う。	実施できなかった	1
	草や虫を探す。	2年	ふれあいを通して、自然に対する興味・関心を高める。	概ね実施できた。	2
	カイコを育てる。虫の体を調べる。	3年	身近な虫の観察を通して、自然への興味を深める。	カイコの世話をしながら、興味を持って観察することができた。	3
	公害について考える	5年	公害について学び、現在について考える。	環境についての考えが深まった。	2
電気、水、物を大切に使う活動	上下水道について学習する。	4年	見学や学習を通して、水を大切に使うとする意識を育てる。	資源の大切さについて意識を深めた。	2
	エコキャップを集めよう。	全校	環境委員を中心に活動し、身近なことで環境や世界の人々のためになる活動をする。	概ね実施できた。	2
	教室の電気を天候に合わせて消灯できる。	全校	身近なことで省エネに取り組む。	概ね実施できた。	2
捨てるごみを減らす活動	ごみについて学習する。	4年	見学や学習を通して、ゴミを減らすための方法を考え、実践していく態度を育てる。	概ね実施できた。	2
	海岸を清掃しよう	6年	海岸をきれいにするには、どうしたらよいかを考える。	概ね実施できた。	2
その他	花壇づくり	環境委員	校内に花壇を作り、花を育てる。	概ね実施できた。	2

※ 評価点： ・よくできたー3 ・大体できたー2 ・あまりできなかったー1

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

平成 25 年度

学校名：茅ヶ崎市立小出小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目 的	実施状況	評価点
環境についての学習	一人一鉢草花を育てたり、校庭の樹木を観察したりする。	1	身近な自然にふれ、それらと環境の関わりを知る。	自分で毎日世話をすることにより、環境との関わりを学んだ。	3
	野菜や花を育て、観察する。	2	身近な自然にふれ、それらと環境の関わりを知る。	植物の成長の様子を学ぶことができた。	3
	学区探検	3	地域の自然環境に関心を持たせる。	学区の中の自然や土地利用に対する理解が深まった。	3
	里山公園（柳谷）の学習	4	地域の自然環境に対する関心を高めさせる。	身近にある里山公園が地域の宝であることを再発見した。	2
	生物のくらしと自然環境の学習	5 6	地球全体の環境保全の大切さを学ぶ。	個人差はあるが、関心をもつようになった児童も見られる。	2
	家庭科での学習を通し、環境保全を意識する。	5 6	自分たちの生活をよりよい環境で送ろうとする意識を持たせる。	学んだことを日々の生活の中で生かそうとする意識が育ってきた。	2
電気、水、物を大切に使う活動	使っていない教室等の電気をこまめに消す。	全学年	電気を大切にすることを行動から学ばせる。	教室を留守にする時にはスイッチを切るようになった。	2
	水道の使用後は蛇口をしっかり閉める。	全学年	水を大切にすることを行動から学ばせる。	たまに水がもれている蛇口があった。それに気づき、水を止めてくれる児童もふえた。	2
	寒川浄水場・最終処分場の見学	4	水道水が時間をかけて作られる様子や最終処分場が抱える問題点を考えさせる。	自分の生活をふりかえり、態度を改めようとする児童もいた。	3
捨てるごみを減らす活動	紙のリサイクル(牛乳パック、トイレットペーパーのしん、ダンボール等)	全学年	すてればごみ、生かせば資源になることを学ばせる。	児童の環境委員会、PTA も参加し、毎月活動。何年も継続している。	3
	ニチバン巻心エコプロジェクトへの参加	全学年	すてればごみ、生かせば資源になることを学ばせる。	朝会、学校だよりで呼びかけ、家庭からもテープの巻心を集めた。	3
	プラスチック類と紙類の分別	全学年	ごみと資源物の違いを意識させる。	各教室に 2 つのごみ箱を用意し、分別している。	3

	給食は残さず食べるようにする。	全学年	食べれば自分の成長のための栄養、残せばごみになることを意識させる。	学校全体で残菜が少ない。	3
その他 (自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全 校 環 境 活 動 実 施 報 告 書

平成 25 年度

学校名：茅ヶ崎市立松浪小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目 的	実施状況	評価点
環境についての学習	リサイクルについて学習する。	6 年	リサイクルの仕組みを知る。	総合的な学習の時間を活用し取り組んだ。	3
	エネルギーについて学習する。	5 年	水力発電の仕組みを知る。	総合的な学習の時間を活用し取り組んだ。	3
	水資源の循環について学習する。	4 年	水の大切さを知る。	総合的な学習の時間、社会科の時間に取り組んだ。	3
	地域の自然環境を観察する。	3 年	地域を知る。	社会科の「町たんけん」で取り組んだ。	3
	松浪池の生物を学習する。	2 年	身近な生き物を知る。	生活科で観察、図工科で絵画に取り組んだ。	3
	あさがおの世話をする。	1 年	植物の成長を知り、自然への関心を高める。	生活科の時間を活用し、観察に取り組んだ。	3
電気、水、物を大切に使う活動	使用していない教室やトイレなどの電気をこまめに消す。	全学年	節電の大切さを知る。	電気のスイッチに注意を促す文章を張り付けた。放送などでも呼びかけた。	3
	水道の蛇口を閉める	全学年	節水の大切さを知る。	清掃のときのバケツ使用の徹底を図った。	3
	文房具を大切に使う。	全学年	物の大切さを知る。	落とし物がなくなるように取り組んだ。	3
捨てるごみを減らす活動	エコキャップ運動に参加する。	全学年		美化委員会を中心に取り組んだ。	3
	給食の残食調べを実施する。	全学年		年間 4 回実施し、残食量が減るように取り組んだ。	3
その他(自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成 25年度

学校名:茅ヶ崎市立梅田小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	太陽エネルギーの学習	4	太陽エネルギーの活用を通して環境について考える。	大震災後の計画停電等の経験から、クリーンエネルギーの学習に関心高く、真剣に学んでいた。	2
	社会科の学習で熱帯雨林の伐採や砂漠化についての学習	6	グローバルな視点で環境を考える。		2
	日本各地の環境に即した生活	4	日本の自然環境に即した人々の工夫や苦労があることを知る。	環境と人々の生活の関連について、具体的な事例を元に学んだ。	2
	社会科の学習で日本の漁業と環境についての学習	5	漁業と環境・資源について学習する。	赤潮発生や森林保護と海洋保護の関係性を学んだ。	2
	東日本大震災と環境	4・5・6	自然の力や放射能についての学習。	朝日新聞を用いて、大震災や放射能について学んだ。	3
	野菜を育て、調理をして味わう	仲よし	草とりや水やりを細目に行い野菜作りの大変さを実感するとともに、収穫の喜びを味わう。		3
	花いっぱいになあれ	全学年	花壇に花を植えたり、植物の世話をすることで、自然の素晴らしさを知る	PTAボランティアと学校の協力です、花壇の整備を行い子供たちを温かく迎える環境づくりができた。	3
	エメロード商店街に花を植えよう	5年	自分たちの住む地域に花を植え、地域のために自分たちができる活動で、環境づくりのお手伝いをする。	エメロード商店街にでかけ、花を植える活動をしたことで地域の皆さんにも喜んでいただいた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	学校全体で節電	全	電気の消費量の削減に努める。	消灯の徹底や温水便座の未使用等に取り組む。	3
	家庭科の学習で生活のエコ化	5	生活全体のエコ化を推進する児童の育成。	エコクッキングの学習等をおこなう。	2
	浄水場見学	4	水資源の重要性を学ぶ。	浄水場の見学を通して水の大切さを知る。	3
	ダム見学	4	水資源の重要性を学ぶ。	ダムの見学を通して水の大切さを知る。	2
捨てるゴミを減らす活動	ごみ分別の学習	全	分別方法の変更の意義を学ぶ。	プラごみの分別を通して資源について考える。	3
	家庭科の学習で資源の活用	5	生活を地球環境保全の視点で考える。	グループ学習等で、自分の生活を見つめなおした。	2
	ごみ処理を知る	4	資源としてのごみを意識化する。	ごみ処理の学習を通して、分別や資源ごみについての理解を深めた。	3
	エコキャップを集める	全	キャップを集めることで、誰かの役に立てることを学ぶ	エコキャップの活動について理解を深めた。	3
その他(自由)	ノー残業デー	全職員	エコ推進のため月に1回ノー残業デーを実施	ノー残業デーの日は18:00業務終了をめざし、計画的に業務をすすめている	2

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立香川小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	生き物のくらしと自然環境の学習をする	5 6	地球全体の環境保全の大切さを学ぶ	授業を通して環境保全の大切さを理解したが新聞はできず。	2
	宮ヶ瀬ダムと水とエネルギー館を見学する	4	水道水の源流をたずね、水の大切さに気づかせる	宮ヶ瀬ダムの見学をし、見聞したことを新聞にまとめた。	3
	学区探検や小出川探検をする	3	自分の住む地域の自然環境について関心をもつ。	地域の土地利用や自然について学んだ。小出川探検は未実施。	2
	学年園で草花を育て観察をする	2	身近な自然と触れ合い、環境との関わりを知る	花の栽培とその世話を通して、植物の大切さを知ることができた。	3
	学年園で野菜を育て、成長の様子を観察する。	1	野菜作りをして、自然と触れ合う。トマト、ナス、ピーマン	野菜を育て、その成長の過程を知ることができた。	3
	家庭科の学習を通して環境保全を意識する	5 6	よりよい環境づくりのために、日頃の生活の見直しをさせる。	学校で学んだことを自分の家庭での生活の中でも活かしている。	3
	柳島終末処理場と環境事業センターの見学。	4	下水が浄化される様子やごみ処理の実際を知る。	環境保全のために行われている行政の取り組みを知る。	3
	広域リサイクルセンターの見学をする。	4	不用になったものを、リサイクルするための工夫を知る。	見聞したことを新聞にまとめ、理解を深めた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	(節電)電灯のスイッチをこまめに消す	全	電気を大切にすることを行動で実践する。	不要な電灯がついている場合が昨年より増えた。	1
	(節水)水道の蛇口をしっかりとしめる。	全	水を大切にすることを行動で実践する。	水もれをしている蛇口はほとんどない。	3
	(省資源)持ち物に記名し、物を大切に使う。	全	資源を大切にすることを行動で実践する。	無記名の落とし物がまだまだ多い。	1
	寒川浄水場と水道記念館を見学する	4	水道水が作られる過程を知り、水を大切に使う。	水道水の大切さを知ることができた。新聞にまとめた。	3
捨てるごみを減らす活動	(リサイクル)ペットボトルキャップなどを回収する	全	資源の循環利用について、意識を持たせる。	プリンターのインクケースがよく回収されている。	2
	(リサイクル)プラごみを選別して集める。	全	プラごみは資源物であることに気付かせる。	可燃ごみとプラごみを意識して選別するようになった。	3

そ の 他 (自由)	牛乳パックのリサイクルをする。	全	ごみの減量とリサイクルを児童一人一人に体験させる。	毎回給食で、自分が飲んだ牛乳パックを洗って回収した。	3
---------------	-----------------	---	---------------------------	----------------------------	---

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立浜須賀小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	①緑を増やす工夫をする。	なかよし栽培委員	緑を増やし、少しでも地球環境の役に立つ。	〈仲良し〉野菜を植えるなどして緑を増やした。	2
	②カエル池を大切ににする。	全学年環境委員	カエル池にすむ生き物や植物の生態を維持する。	〈環境委員〉カエル池の清掃を行った。 〈全学年〉ゴミを捨てない、拾う指導を行った。	3
	③学校の中の自然を探し、動植物にふれあう。	2年生	自然を大切にする気持ちを育てる。	生活科の学習を通して動植物にふれあった。	3
	④地域の自然環境について、関心をもって学習する。	3年生	地域にある自然に目をむけ、自然を大切にする心を育てる。	地域の公園に行き、地域には自然には目を向けることができたが、自然環境についての学習はできなかった。	2
	⑤使用済み資源のリサイクルや廃棄物の処理について学習する。	4年生	ごみについての学習を通して、自分にできることを考える。	クリーンセンターに行き、ゴミの処理のしかたについて学習した。	3
	⑥地球の環境問題について関心をもって学習する。	5年生	地球規模での環境を学び、自分でできることについて考え、実行していく。	総合的な学習で環境問題について調べ学習を行った。	2
	⑦エネルギーについて学習する。	6年生	電気、自然エネルギーなどを学習し、環境に配慮した生活を心がける。	どのようなエネルギーがあるのかを授業で学習した。また、近年注目されているエネルギーについても学習した。	2
	⑧農業をされている方（萩園ファーム）の方から農業について学ぶ。	5年生	農業に必要なことを学習し、自然と密着しているということを学習する。		2
電気、水、物を大切に使う活動	①使っていない教室や廊下の電気はこまめに消す。	全学年	むだな電気は使わない意識を高める。	クラスで係りをつくるなどして、こまめに消すようにしていた。	3

	② 水道は、必要な量だけを使い、手洗いの時など、流しっぱなしにしない。	全学年	必要な量ということ意識し、消費する量や時間についても考える	牛乳パックを洗う時、クラスによって水の使い方がバラバラだった。バケツに溜めた水で洗うクラスも多い。	2
	③ 水道を使ったあとは、蛇口をきちんとしめる。	全学年 1年生	いつも心がけていくこととして身につける。	全学年ほとんど実地できたが、トイレの水が止められていないことがたびたびあった。	2
	④ 文房具等は大切に使い、落し物がないように持ち物には記名をする。	全学年	物を大切にすることを養う	昨年に引き続き新しく持ってきたものに名前を書かない児童が多く目立ち、持ち主不明の物が多かった。	1
捨てるごみを減らす活動	① プラごみと燃えるごみに分別する。	全学年	自分たちでできる一番身近な活動として、リサイクル資源を意識する。	教室でゴミの分別を行っているので、子どもたちも自分たちで分別している。	3
	② 紙の裏面使用を心がけ、むだな紙をださない工夫をする。	全学年 給食委員	普段から使っている紙を再利用することで、無駄をなくす意識を育てる。	子どもたちだけでなく、教職員も心がけてきている。	2
	③ 食事は食べ残しをしないようにする。	5・6年	自分の食べられる量を加減しながら、バランスよく全部食べきる。	一回ではあるが、全クラスで残食0の日があった。委員会を中心に呼びかけを行っている。	2
その他 (自由)	環境を考え、家庭生活を工夫する。	5・6年	資源を有効に利用する工夫について考える。	リサイクルの学習を通して、自分たちで工夫して考えることができるようになってきている。	2

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

平成 25 年度

学校名：茅ヶ崎市立鶴が台小学校

取り組み 項目	主な活動内容	実施 学年	目 的	実施状況	評価点
環境につ いての学 習	野菜の栽培	1	植物の大切さに気づく	生活科で活動した。	3
	野菜の栽培	2	植物の大切さに気づく	生活科で活動した。	3
	植物の栽培	3	自然環境の大切さに気 づく	理科で実施した。	3
	毎日の生活（ごみ・ 水）について考える	4	自然環境の大切さに気 づく	社会科で実施した。	3
	環境にやさしい車 を考える	5	クリーンなエネルギー を考える	社会科で実施した。	3
	地球環境について 考える	6	生物と地球環境の共存 について考える	理科で実施した。	3
電気、水、 物を大切 に使う活 動	毎日の生活（水の使 い方）について考え る	4	自然環境の大切さに気 づく	社会科で実施した。	3
捨てるご みを減ら す活動	毎日の生活（ごみ） について考える	4	自然環境の大切さに気 づく	社会科で実施した。	3
そ の 他 (自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立柳島小学校

取り組み 項目	主な活動内容	実施 学年	評価 ポイント	改善実施済事項 今後の改善事項
環境に ついて の学習	① 緑を増やす工夫をする。	緑化 委員	3	
	② 植物の栽培と収穫。アサガオ	1年	3	
	③ 野菜の栽培と収穫。ミニトマト	2年	3	
	④ 野菜の栽培と収穫。環境学習	3年	3	
	⑤ 身近な環境学習と施設見学	4年	3	
	⑥ ゴミの最小化や洗剤を考える。	5年	3	
	⑦ 地球環境と自然の力を学ぶ。	6年	3	
電気、水、 物を大切 に使う 活動	① 使っていない電気をこまめに消す。	全校	2	クラスごとに話し合った
	② 水道は、流しっ放しにしない。	全校	3	
	③ 蛇口をきちんと閉める。	全校	2	
捨てる ごみを 減らす 活動	① 給食のパン袋や日常のプラごみと燃えるごみに分別する。	全校	3	
	② 紙の両面印刷で無駄な紙を出さない。	全校	2	
	③ 食べ残しをしない。	全校	3	給食ニュースでの効果
その他 (自由)	エコキャップを集めよう。	全校	3	P T Aでの呼びかけ

全 校 環 境 活 動 実 施 報 告 書

平成 2 5 年度

学校名：茅ヶ崎市立小和田小学校

取り組み 項目	主な活動内容	実施 学年	目 的	実施状況	評価点
環境につ いての学 習	サツマイモのつる でリース作り	1	ごみになるようなもの を利用してものを作る	サツマイモを掘った後、ツル をリースにし、飾り付けをし た。	3
	工作で材料を無駄 なく使う	2	工作で材料を無駄なく 使う	落ち葉を拾って再利用、牛乳 パックやトイレトパー パーの芯を使っておもちゃを 作った。	3
	自然環境学習	3	日常生活で出来るエコ 活動	小和田小の水のエコ、木・紙 の無駄のない使い方、ものを 大切にする具体的な行動につ いて考えた。	3
	寒川浄水場、環境事 業センターの見学	4	健康なくらしのために ごみや下水がどのよう に処理・利用されている か学ぶ	浄水場、事業センターを見学 して学びを深め、学校で振り 返しを行った。	3
	自然環境学習（総 合）	5	自然環境と自分自身と のつながりを考え、環境 に関心を持たせる	クラスごとに自然環境をテ ーマに調べ、学んだことを伝 え合った。	3
	エコクッキング・環 境新聞(家庭ででき るエコ)	3	無駄なエネルギーを使 わず料理を体験する 身近で出来るエコ活動 を考える	エコクッキングは外部講師 を呼び、クラスごとに調理し た。(節電・節水)	3
電気、水、 物を大切 に使う活 動	電気パトロールの 実施	環境 委員 会	節電とその啓発	毎日校舎内のパトロールを行 い(放課後)、電気がついてい ないか、コンセントがさしっ ぱなしになっていないかチェ ックした。	3
	節電	全職員・ 全児童	節電とその啓発	明るい時間は電気を消し、節 電に努めた。	3
	ペットボトルキャ ップの回収	環境 委員 会	ごみの削減と環境につ いて考えるきっかけづ くり	学校内の数カ所に回収ボッ クスを設置し、各家庭から持 ってきてもらい、回収した。	3
	雨水タンク利用の 水やり	全職員・ 全児童	節水とその啓発	水やりの際に雨水タンクに たまった水を利用するよう 声かけを行った。	3
捨てるご みを減ら す活動	裏が紙ごみは再利 用する	全職員・ 全児童	ごみの削減、意識向上	クラスごとに声かけし、実施 した。	2
	ごみは小さくして 出す	全職員・ 全児童	ごみの削減、意識向上	クラスごとに声かけをし、実 施した。	2
そ の 他 (自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全 校 環 境 活 動 実 施 報 告 書

平成 2 5 年 度

学校名： 茅ヶ崎市立円蔵小学校

取り組み 項目	主な活動内容	実施 学年	目 的	実施状況	評価点
環境につ いての学 習	季節を探そう	1 年	近くの公園に出かけ、四季の変化を生き物、植物の変化から知る。	児童が興味を持って、探索活動をし、一人ひとりが季節の変化を感じ取っていた。	3
	フラワーロードづくり	2 年	学校前道路の植え込み等に花を植え、道路環境を良くする。	地域の方の協力も得て、花の咲くきれいな歩道ができた。	3
	千の川自然観察	クラブ	川を観察し、動物、植物、風景の変化を記録する。	千の川を探検し、川を汚さない工夫、環境を守る気持ち等を育てることができた。	2
	教室環境調査	6 年	過ごしやすい教室環境について考える。	節電対策の中で、窓の開閉等で対応した。	2
電気、水、物を大切に使う活動	水育	4 年	日常の水使用量と水の汚染について知り、水の大切さを学ぶ。	水は生きものにとって大切なものであり、限りある資源であることを知り、大切に使う態度と、汚染の怖さについて理解させることができた。	3
	水はどこへ	4 年	浄水場と水道記念館の見学。浄水場について新聞を作製した。	川から取水した水が飲み水として利用できるまでの流れを理解することで、水を大切にしようとする態度が育った。	2
捨てるごみを減らす活動	ゴミはどこへ	4 年	環境事業センター、下水処理場の見学をし、ごみ減量ポスターを作成した。	各施設の見学を通して、ごみを減らす工夫の必要性を感じたり、できるだけ水を汚さない工夫について考えたりできた。	3
	ゴミを減らそう	全学年	給食のプラゴミの分別	日々の生活の中に、分別・再利用の意識を持つように努めた。	3
そ の 他 (自由)	クラス・エコ活動	全学年	毎月エコ目標をつくり、達成のために取り組む。	できることから始め、継続することの大切さを学ぶ。	2

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名:茅ヶ崎市立今宿小学校

取組項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	栽培活動	1～2年	植物を育てることで自然に目をむけ大切にすることを育てる。	・花、作物を育てることができた。	3
	栽培活動	3～4年	植物を育てることで自然に目をむけ大切にすることを育てる。	・花、作物を育てることができた。	2
	上下水道の学習 ダム見学	4年	上下水道を学習することにより水等の資源を大切にすることを育てる。	・上水道の見学を行い、水の資源の大切さを学習した。	2
	ごみの学習 ごみ処理場見学	4年	ごみを学習することにより資源を大切にすることを育てる。	・ごみの学習を行うことで、資源を大切にすることを育てた。	2
	栽培学習	5年	植物を育てることで自然に目をむけ大切にすることを育てる。	・花、作物を育てることができた。	2
	理科(生き物のくらしと自然環境)	6年	自然環境に目をむけ大切にすることを育てる。	・花、作物を育てることができた。	2
電気、水物を大切に使う活動	使っていない教室やトイレの電気をこまめに消す	全校	全校で節電の徹底。	・使っていない教室やトイレの電気をこまめに消す消すことができた。	2
	長時間使用していない電気機器のコンセントを抜く。	全校	全校で節電の徹底。	・長時間使用していない電気機器のコンセントを抜くことができた。	2
	水道を使ったあとは蛇口をきちんと閉める。	全校	全校で節水の徹底。	・水道を使ったあとは蛇口をきちんと閉めることができた。	3
	そうじのときバケツに汲んだ水で雑巾を洗う。	全校	全校で節水の徹底。	・そうじのときバケツに汲んだ水で雑巾を洗うことができた。	2
	持ち物に名前を書いて大切にし、最後まで使う。	全校	資源の有効活用	・持ち物に名前を書いて大切にし、最後まで使う努力をした。	2
	印刷やコピーの無駄をなくす。	教職員	資源の有効活用	・印刷やコピーの無駄をなくすことができた。	2
捨てるごみを減らす活動	リサイクル分別収集区分及び容器を整える。	教職員	資源の有効活用	・リサイクル分別収集区分及び容器を整えることができた。	3
	捨てるごみとリサイクル資源をきちんと区別する。	教職員	ごみの減量化	・捨てるごみとリサイクル資源をきちんと区別することができた。	3
	給食は食べられる量にして残さないようにする。	全校	ごみの減量化	・給食は食べられる量にして残さないようにする努力をした。	2

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立室田小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	栽培活動	3・4年 1・2年	植物を育てることで自然に目を向け大切に する気持ちを育てる。	作物・花を育てることができた。	3
	栽培活動 (バケツ稲)	5年	植物を育てることで自然に目を向け大切に する気持ちを育てる。	稲を育てることができた。	2
	ごみの学習	4年	ごみを学習することにより資源を大切に する心を育てる。	ごみの学習を行うことで、資源を大切に する心を育てた。	3
	寒川浄水場	4年	上下水道を学習することにより水等の資源を 大切に する心を育てる。	寒川浄水場の見学をすることにより水資源の 大切さを学習した。	3
	生き物のくらしと自然環境	6年	自然環境を大切に する気持ちを育てる。	植物等を育てることができた。	3
	海藻おしばづくり	4年 5年	海の森の存在と働きについて学び、海の環境 保全の心を育てる。	海藻おしば作りを通して、海の環境を守る 大切さにする心を育てた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	印刷やコピーの無駄をなくす。	教職員	資源の活用利用	印刷やコピーの無駄をなくすことができた。	2
	使っていない教室やトイレの電気をこまめに消す。	全校	全校で節電に努める。	使っていない教室やトイレの電気をこまめに 消すよう努力したが課題が残った。	2
	水道を使った後、蛇口をきちんと閉める	全校	全校で節水に努める。	水道を使った後は、蛇口をきちんと閉める ことができた。	2
	持ち物に名前を書いて大切にし、最後まで使う。	全校	資源の活用利用	持ち物に名前を書いて大切に し、最後まで使うことができた。	3
	使用しないコピー機 印刷機の電源を抜く	全体	待機電力の節電	待機電力の無駄を省くよう職員 全体で取り組んだ	3
捨てるごみを減らす活動	給食は食べられる量にして残さないように にする。	全校	ゴミの減量	給食は食べられる量にして残さないように することができた。	3
	リサイクル分別収集 区分及び容器を整える。	教職員	資源の有効利用	リサイクル分別収集区分及び 容器を整えることができた。	3
	捨てるゴミとリサイ クル資源をきちんと 区別する。	教職員	ゴミの減量	捨てるゴミとリサイクル資源を きちんと区別することができた。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名: 茅ヶ崎市立東海岸小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	環境事業センターや浄水場、終末処理場等の施設を見学する。	4年	施設見学を通して、環境への意識を高め、資源の再利用等自分たちでできることを考えさせ、実践させる。	見学を行い環境への意識を高め、資源の再利用について意識を高めることができた。	3
	バケツ稲を栽培する。	5年	稲を育てることで、自然に対する思いや感性を養うとともに、食料の大切さに気付かせる。	(実施せず)	
	茅ヶ崎海岸自然観察と海岸清掃(東海大学藤吉研究室との連携)	6年	海岸・防砂林を観察し、また海岸清掃を行うことで、環境保護の重要性に気付かせる。	大学生とともに活動を行い、環境保護の重要性に気づけた。	3
電気、水、ものを大切に使う活動	教室や廊下の電気をこまめに消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	晴天時は窓側を消灯するなどして使用量を抑えた。	2
	廊下の蛍光灯数を最小限に抑える。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	蛍光灯を減数し、使用量を抑えた。	2
	使用していない教室、トイレなどの電気を消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	スイッチに「節電」のシールを貼り不使用時消灯の意識を高めた。	2
	水道の蛇口をしっかりと閉める。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	各学級で指導を行った。また、当番職員が校内巡回時チェックをした。	2
	清掃、手洗い、牛乳パック洗浄の際、必要以上の水を使わない。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	必要最小限の水を使うよう各学級で指導を行った。	2
	花壇等の水まきには、雨水の活用(雨水君)を図る。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	(放射線の関係で使用せず)	
	自分の所有物を大切に扱い、なくしたり、落としてしまわないようにする。	全学年	ものを大切に使う意識を高める。	児童委員会で全校に呼びかけをした。また、授業参観等では展示を行った。	1
	ポスターや校内放送を利用し、節電、節水省資源等の呼びかけを行う。	全学年	限りある資源を大切に使うことを啓発する。	様々な啓発ポスターを掲示した。	2
捨てるゴミを減らす運動	紙をゴミとして捨てず、再利用する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	学校全体で古紙を分別し再利用した。	2
	牛乳パックを適切に処理する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	すべて回収し再利用した。また、牛乳パックベルマーク運動に参加した。	3
	ゴミの分別を徹底する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	茅ヶ崎市のゴミ処理方法に従い、分別を徹底した。	2
	ゴミ箱に分別がわかりやすいような表示をする。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	校内のゴミ箱すべてに表示を行った。	3
	給食の残量を減らすよう心掛ける。	全学年	食材を大切に、残食を減らす意識を高める。	パクパク週間、完食表彰などを行い、残食量を減らすことができた。	3

※ 評価点: ・よくできた—3 ・大体できた—2 ・あまりできなかった—1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立浜之郷小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	野菜・花の栽培と観察	1	自然にふれあい親しむ 調理し食物の大切さを知る	サツマイモを栽培し、スイートポテトにして味わった。	3
	野菜の栽培	2	作物の栽培過程を知る	ミニトマトやサツマイモを栽培し、成長過程を観察し記録した。	3
	町たんけん	3	地域、茅ヶ崎の自然にふれる	学年で学区巡りを実施し、地図を作成した。市内巡りを実施、昔の道具について文化資料館の出張授業を実施した。	3
	ゴミロボ学習	4	リサイクルについて学習する	給食の残菜が堆肥になってリサイクルされていく様子を栄養教諭、萩園ファームの方からお話を伺った。	3
	浄水場・環境事 センターの見学	4	環境保護意識を高める	浄水場の見学、環境事業センターの見学を実施し、新聞にまとめるなどした。	3
	水田での稲作学 習	5	1年間を通して、農業、 自然について考える	種籾から苗～収穫、販売まで「米」について体験を通して学習した。	3
	エコ・クッキン グ	6	ゴミの量を減らす学 習。水や洗剤の節約	材料を工夫して「エコのみ焼き」をつくり、試食した。	3
電気、 水、物を大切 に使う 活動	電灯・換気扇を こまめに消す	全校	節電	環境委員会の児童が点検に歩いたり、ポスターやテレビ放送を行った。	2
	水道の蛇口を しっかりしめる	全校	節水	環境委員会の児童が点検に歩いたり、ポスターやテレビ放送を行った。	2
	物を大切に する	全校	省資源	学級指導を中心に行った。	3
捨てる ごみを減ら 活動	給食を残さない	全校	ゴミの減量	学級での給食指導やふれあい給食で取り組んだ。	3
	ゴミの分別に気 をつける	全校	リサイクル	学級指導を中心に取り組んだ。	2
その他 (自由)	山羊の飼育	5,6 年	リサイクル・省資源	給食調理で出てきた野菜くずをえさにした。飼育委員会の児童が中心に活動した。	2
	緑のカーテン	4 年	節電	保健室前や4年生の教室のベランダにつくり、意識を高めた。	2

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名: 茅ヶ崎市緑が浜小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	環境事業センターや浄水場、終末処理場等の施設を見学する。	4年	施設見学を通して、環境への意識を高め、資源の再利用等自分たちでできることを考えさせ、実践させる。	公共施設の見学を通して学んだことを学校生活にて生かしていた。	3
	バケツ稲を栽培する。	5年	稲を育てることで、自然に対する思いや感性を養うとともに食材の大切さに気づかせる。	残ったわらを利用して正月かざりの注連縄などをつくった。	3
	家庭科の学習を通して、環境を意識した生活について学ぶ。	6年	自分たちの日ごろの生活を振り返り、よりよい生活環境について考える。	児童の意識、行動に変化があった。	2
	エコキャップ集め	全学年	環境委員会が中心になってエコキャップを集め、ワクチンをアフリカに送る運動に協力	エコキャップ集めが定着してきた。	2
電気、水、物を大切に使う活動	教室や廊下の電気をこまめに消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	電気のスイッチの点灯のついての意識が高まった。	2
	廊下の蛍光灯を間引きする。	全学年	電気料を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節電の工夫を理解した。	3
	使用していない教室、トイレなどの電気を消す。	全学年	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	電気のスイッチの点灯のついての意識が高まった。	2
	水道の蛇口をしっかりと閉める。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	水の出しっぱなしがなくなった。	3
	清掃、手洗い、牛乳パック洗浄の際、必要以上の水を使わない。	全学年	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	児童の意識、行動に変化があった。	3
	全校集会等を利用し、節電、節水、省資源等の呼びかけを行う。	全学年	限りある資源を大切に使うことを啓発する。	児童の意識、行動に変化があった。	3
捨てるごみを減らす活動	牛乳パックを適切に処理する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	児童の意識、行動に変化があった。	3
	ゴミの分別を徹底する。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	児童の裏紙利用が増えた。	2
	ゴミ箱に分別が分かりやすいような表示をする。	全学年	ゴミを減量し、資源として再利用する意識を高める。	児童の意識、行動に変化があった。	3
	給食の残量を減らすよう心がける。	全学年	食材を大切にし、残食を減らすようとする意識を高める。	残食糧が減った。	3

※評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名： 茅ヶ崎市立汐見台小学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	ビーチクリーン	全学年	汐小前の砂浜を遊べるようにきれいにする。	年10回実施した。	3
	松の育苗	2年	松を育てることでのちを感じ、身近な自然を大切に作る。	名前をつけたり、お話を作ったり、作文を書いたりして感じたことを表現した。	3
	地引き網	3年	魚のいのちを感じ、いただくことで生きものとの共生を考える。	タッチプールで魚とふれあい魚をさばくのを見た後、しらすを食べた。	3
	サンドアート	2年 6年	身近な環境を活用して、豊かな感性をはぐくむ。	異学年交流で作品を作った。	2
	農家見学 養豚場見学 精肉店見学	3年	環境に即した生産者、販売業者の仕事とその工夫を知る。 衛生安全管理の意味を知る。	見学後、学んだことを学習カルタにしてまとめた。	3
	みるく教室	3年	牛乳、カルシウムのからだへの影響を知る。	(株)明治の方による出前授業。	3
	学区の危険箇所調査	4年	学区を歩き、普段気づかないところの危険に気づく。	意識をして見直すことで身近な環境に潜む危険に気づき、その対応について考えた。	2
	環境美化センター見学	4年	ごみがどのように処理されているのかを知る。	ごみを減らすこと、自分たちができることを考え、行動できるようにした。	3
	ごみの調査	4年	地域のごみについて考え、どのくらいあるか調べる。	汐見台地区のごみの量をごみ拾いをしながら調査した。	3
	米作り	5年	米作りをとおして、屋上にある植物、鳥類を知る。	朝夕の気温計測、野鳥、植物について観察し、調べた。	2
	ロードクリーン	4年 6年	汐風海道（汐小前の道）を笑顔で歩けるようにする。	授業だけでなく、登下校時にも意識できるようになった。	3

環境についての学習	落書き消し	6年	汐小近辺の落書きを消して、環境を整備する。	地域、環境政策課の協力を得て、防災倉庫に絵を描くことまでできた。	3
	看板、ポスター、かんバッチ制作	6年	環境維持を意識するために多様な活動をする。	地域の方々、保護者の方々の協力を得て活動できた。	3
	パンジー、チューリップの植栽	6年	花いっぱいの汐小前道路を笑顔で登下校できるようにする。	保護者の方々の協力を得て、道沿いに植えた。辻堂海浜公園の協力も得た。	2
電気、水、物を大切に使う活動	節電・節水エコ行動！	全学年	限りある資源を有効に使う意識向上を図る。	移動時や作業をする時に意識付けをしながら、自ら行動できるように活動した。	3
	みんなの約束	2年	みんなで使うものを大切に扱えるようにする。	具体的な場面から考えるようにして、有効な使い方ができるようになった。	3
	浄水場見学	4年	水道水がどのようにして家庭にくるかを知る。	水に対する意識啓発を図った。水に対する関心が生まれた。	3
	水はどこから	4年	宮が瀬ダムを見学。ダムの必要性と水の大切さを学ぶ。	川から取水した水が飲み水として利用できるまでの流れを理解することで、水を大切にしようとする態度が育った。	3
捨てるごみを減らす活動	工夫して作品を作る	1年	ごみにしないように工夫して使いながら作品を作る。	リユースを意識して行動できるだけでなく、楽しく活動ができた。	3
	掃除について考える	2年	ごみを減らすよう「何がごみか」を考える。	「捨てないことが一番のごみ拾い」を合言葉で生活することを続けた。	3
	リサイクル活動	全校	クラスで燃えるごみ、資源ごみの分別収集をする活動をとおして、環境について学習する。	ごみに対する関心を高め、生活の中で実践できるような意識づけの機会となった。	3
その他(自由)	健康教育	全学年	手洗い・うがいの励行	栄養教諭、養護教諭の協力も得て持続的に取り組む。インフルエンザ対策も行う。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立第一中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地域環境学習 (里山公園自然観察)	1年	地域の環境がどのようなように保全されているかを知る。	ボランティアの協力により、大きな成果を上げた。	3
	ビーチクリーン活動 (海岸のごみ拾い)	3年	地域に貢献する姿勢を育てる。	日程の関係で実施できなかった。	1
	校内美化強化日の実施 (清掃時間を増やし細かなところまで清掃する)	全校	自分たちのことは自分で行う行動力をつける。	長期休業前後に大掃除を設定し取り組んだ。	2
	校舎の周りや正門付近の清掃活動	有志	所属間を高め、進んで貢献する姿勢を育てる。	ボランティア部中心に取り組んだ。	2
電気、水、物を大切に使う活動	教室や廊下の電気をこまめに消す。	全校	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節電意識が昨年度に比べると低くなったように感じた。	2
	使用していない教室、トイレなどの電気を消す。	全校	電気使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節電意識が昨年度に比べると低くなったように感じた。	2
	水道の蛇口をきちんと閉める。	全校	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節水の意識を引き続き高める必要がある。	2
	掃除、手洗い、牛乳パックの洗浄の際に必要な以上の水を使わない。	全校	水道使用量を抑え、環境に貢献する意識を高める。	節水の意識を引き続き高める必要がある。	2
	自分の所有物を大切に使い、忘れたり、落としたりしないようにする。	全校	物を大切に使う意識を高める。	忘れ物を取りに来ない生徒が多くみられる。	1
	ポスターや校内放送などを利用し、電気や水、石けん、トイレトーパーなどの使い方などについて適切に使用するための呼びかけを行う。	委員会活動	限りある資源を大切に使うことへの啓発を行う。	資源を大切に使う意識は定着している。	3
捨てるごみを減らす活動	エコキャップ活動を継続して行う。	全校	ワクチンの寄付活動とごみ減量をはかる。	生徒会活動として定着している。	3
	プリント類をごみとして捨てない。	全校	ごみを減量し、資源として再利用する意識を高める。	古紙の回収システムが定着している。	3
	牛乳パックを適切に処理する。	全校	ごみを減量し、資源として再利用する意識を高める。	日直や係活動として取り組んでいる。	3
	ごみの分別を徹底する。	全校	ごみを減量し、資源として再利用する意識を高める。	プラごみとの分別が徹底されていない状況がある。	2
	ポスターなどを作成し、ごみ減量への呼びかけを行う。	委員会活動	ごみ減量への啓発を行う。	整備委員会を中心に取り組んだが、十分ではなかった。	2
	ごみ箱に分別がわかりやすいような工夫をする。	委員会活動	ごみ減量を目的に工夫をこらす。	整備委員会が中心に取り組んだが、十分ではなかった。	2
	インクカートリッジ回収活動を継続して行う。	全校	ごみを減量し、再利用する意識を高める。	P T Aも協力もあり、定着しつつある。	2

※評価点： ・よくできた 3 ・大体できた 2 ・あまりできなかった 1

(様式 5)

全 校 環 境 活 動 実 施 報 告 書

平成 25 年度

学校名：茅ヶ崎市立鶴嶺中学校

取り組み 項目	主な活動内容	実施 学年	目 的	実施状況	評価点
環境につ いての学 習	国語「モアイは語 る」	1 年	資源の有効利用。	国語科 1 年の指導計画に基 づいて実施することができ た。	3
	国語「流水と私たち の暮らし」	1 年	地球温暖化を自分たち の問題としてとらえ生 活を見直す。	国語科 1 年の指導計画に基 づいて実施することができ た。	3
	社会科「公害の防止 と環境保全」	3 年	四大公害裁判から循環 型社会形成推進基本法 の制定に至る経緯を学 ぶ。	社会科 3 年の指導計画に基 づいて実施することができ た。	2
	社会科「21 世紀の 資源、エネルギー問 題」	3 年	資源、エネルギーに関す る問題について学ぶ。	社会科 3 年の指導計画に基 づいて実施することができ た。	2
	理科「身近な生物の 観察」	1 年	生物の観察を通して生 命の仕組みを学ぶ。	理科 1 年の指導計画に基 づいて実施することができ た。	3
	理科「科学技術の利 用」	3 年	自然環境の保全と科学 技術のあり方について 学ぶ。	理科 3 年の指導計画に基 づいて実施することができ た。	3
	音楽「夏の思い出」	1 年	自然の豊かさに触れる。	音楽科 1 年の指導計画に基 づいて実施することができ た。	3
電気、水、 物を大切 に使う活 動	教室などの照明を こまめに消す。	全校	省エネを通して環境保 護について考えさせる。	整美委員、保健委員がクラス 内で呼びかけ、実施に取り組 む。	2
	水道の蛇口をしっ かり閉める。	全校	省エネを通して環境保 護について考えさせる。	整美委員、保健委員がクラス 内で呼びかけ、実施に取り組 む。	2
	文房具を最後まで 大事に使う。	全校	資源の有効利用の実践 を通して、物を大切にす る心を育む。	各クラス担任中心に呼びか ける。	2
捨てるご みを減ら す活動	ゴミゼロ 530 運動を行う。	整美 委員 会	生徒が自主的に環境美 化について取り組める ようにする。	整美委員がクラス内で呼び かけ実施に取り組む。	2
	ゴミの分別収集と 減量に努める。	全校	限りある資源を有効に 使う。	整美委員がクラス内で呼び かけ実施に取り組む。	2
	エコキャップ運動	全校	ポリオワクチンの寄付 とゴミ減量による CO2 の削減。	生徒会本部役員が全校に呼 びかけ実施に取り組む。	2
	プリンタインクカ ートリッジ回収運	全校	資源の有効利用とゴミ 減量による CO2 の削減。	生徒会本部役員が全校に呼 びかけ実施に取り組む。	2

	動				
その他 (自由)					

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名: 茅ヶ崎市立松林中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球環境学習	1年	地球環境に関心を持つ	観察・体験活動	2
	地球環境学習	2年	自然環境への関心を深める	スケッチ・短歌作り	3
	地球環境美化学習	1年	野外体験活動を通して自然環境保全への意識を高める	地引き網	3
	地球環境美化活動	1年 3年	地域の環境美化に貢献する	ボランティア清掃	3
電気・水・物を大切に使う活動	節電活動	全校	節電意識を共有する	生徒会による呼びかけ運動	1
	空き教室の消灯活動	全校	電気使用量を減らす	学級での指導および係活動	2
	節水運動	全校	水の使用量を減らす	生徒会による呼びかけ運動	1
	印刷・コピー枚数の削減	全校	資源を大切にする	職員会議で周知	3
	紙の使用量の削減	全校	紙の使用量を減らす	両面印刷の励行	3
	落とし物の削減	全校	物を大切にする	持ち物への記名指導の徹底	3
捨てるゴミを減らす活動	エコキャップ運動	全校	ポリオワクチンの寄付に貢献	生徒会による呼びかけの充実	3
	ゴミの分別	全校	ゴミの減量とリサイクル	学級指導	2

* 評価点: よくできたー3

大体できたー2

あまりできなかったー1

全 校 環 境 活 動 実 施 報 告 書

平成 25 年度

学校名：茅ヶ崎市立西浜中学校

取り組み 項目	主な活動内容	実施 学年	目 的	実施状況	評価点
環 境 学 習	江の島海洋学習	1 年	地球の環境問題について、関心を持って学習する。	保護者にも手伝っていただきながら、地層や海洋環境の学習ができた。	3
	下水処理場・ゴミ処理場・最終処分場・寒川広域リサイクルセンターへの訪問	1 年	ごみ処理・下水処理の現状を知る	ごみ処理・下水処理の現状を実際に見ることで、環境とのかかわりを学習した。	3
	緑のカーテンの実施	7 組	環境問題についての学習	ゴーヤを植えて、緑のカーテンをつくった。	2
	キャンプ	2 年	キャンプ場周辺の自然観察	愛川ふれあいの村の自然環境を観察、そこでのキャンプ生活を体験できた。	2
	ビオトープでの自然観察	全校	理科の時間での環境学習	理科の教科を中心に、微生物の観察や、食物連鎖について学習した。	2
電気、水、物を大切に使う活動	電気をこまめに消す。	全校	節電	空き教室になるときには、日直を中心に電気をこまめにけし、節電に協力できた。生徒会が、節電のポスターを掲示し、啓発運動に努めた。	2
	廊下・教室・体育館・トイレ等の蛍光灯の本数を減らす	全校	節電	節電に協力できた。	3
捨てるごみを減らす活動	牛乳パックのリサイクル	全校	ゴミの減量とリサイクル	保健委員会を中心に、ほぼ完璧にリサイクルができた。	3
	残乳を減らす	全校	ゴミの減量	冬場は残乳が多く、保健委員会を中心に、飲用を呼び掛けた	2
	ゴミの分別	全校	ゴミの減量	資源ゴミと燃えるゴミ、不燃物の分別を行った。	3
そ の 他 (自由)	紙の再利用、両面印刷の実施	全校	資源の節約	紙を有効に使い、資源の節約に努めた。	2
	エコキャップ運動	全校	ゴミの減量とリサイクル	生徒会本部が呼びかけ、家庭で使うペットボトルのキャップを回収した。	2

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立松浪中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球の環境問題について学習する。	2・3年	環境について学習し、自然を大切にする心を育てる。	社会科の授業で地球環境について扱った。	3
電気、水、物を大切に使う活動	エネルギーについて学習する。	2・3年	エネルギーについて学習し同時にエコについての見識も深める。	社会科の授業で扱いエコについての考えを深めた。	3
	家庭での節電、節水について学習し、実践する。	2年	環境問題について関心を持たせ、地球環境を考える。	家庭科の授業で節電・節水について扱った。	3
	野外教室での自然観察会を行う。	2年	自然を身近に感じることで、自然を大切にする心を養う。	自然にふれあい、自然を観察する機会を取り入れた。	2
	レポートを作成し、環境保全の大切さを学習する。	1年	環境保全を推進するための問題について学習する。	理科の授業で環境レポートを作成した。	3
	図書委員会で環境に関する図書の紹介を行う。	全校	環境問題についての周知、啓発活動を行う。	折にふれ、環境に関する本を紹介した。	2
	使っていない教室やトイレなどの電気をこまめに消す。	全校	電気使用量を減らし、CO ₂ を削減することで、地球環境を考える。	生徒会本部の呼びかけで、全校生徒に節電を心がけさせる取り組みができた。	3
	水道の蛇口をしっかり閉める。	全校	水の使用量を減らす。	生徒会本部の呼びかけで、全校生徒に節水を心がけさせる取り組みができた。	3
	ストーブの使用室温を下げる。	全校	資源を大切にし、CO ₂ 削減を実施する。	ストーブの使用頻度を少なくした。	2
	扇風機をこまめに消す。	全校	電気使用量を減らし、CO ₂ を削減することで、地球環境を考える。	生徒会本部の呼びかけで、全校生徒に節電を心がけさせる取り組みができた。	3
捨てるごみを減らす活動	印刷やコピーの無駄をなくす。(両面印刷の励行)	全校	資源を大切にする。ゴミの減量。	全教職員でコピーの削減や紙の再利用に努めた。	3
	捨てるゴミとリサイクル資源をきちんと分別する。	全校	ゴミの有効活用へ向けて分別方法を学び実践する。	プラゴミと燃えるゴミのラベルを明示し、ゴミの分別を心がけた。	3
	落とし物を減らすよう呼びかける。	生徒会 全校	ゴミの減量を行い、資源を大切にする。	落とし物展示会を開き、資源を大切にする心を育てた。	3
	側溝の土砂の利用	全校	ゴミの減量を行う。	側溝清掃を行い、土砂の利用に努めた。	3
その他(自由)	エコキャップ活動の実施	全校	ポリオワクチンの寄付及びゴミ削減によるCO ₂ の削減を行う。	生徒会本部を中心に、全校でエコキャップ運動に取り組んだ。	3

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立梅田中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地域の自然環境について現地調査	1	自然環境についての学習及び体験学習	理科の授業で行った。	3
	地域のごみの分別方法や減量化の取り組み	1	環境学習	理科の授業と秋休みの課題として行った。	3
	地域の清掃や美化運動に参加	全学年	体験学習	全校生徒に参加を呼びかけたが、大会等があり不参加者もあった。	2
	エコキャップ運動と分別作業に参加	全学年	環境学習及び体験学習	分別できていないので、生徒がポスターを作成し掲示した。	3
	地球の環境問題についての学習	3	環境学習	理科の授業で地球温暖化について学習した。	3
	エネルギーについて学習する	3	環境学習	理科の授業でバイオエネルギーや電気を扱った。	3
	緑のカーテンをつくる	全学年	環境学習、体験学習及び夏の暑さ対策	夏休みに取り組んだが、実現しなかった。	1
電気、水、物を大切に使う活動	使っていない教室やトイレの電気を消す	全学年	節電	呼びかけたが不完全な面もあった。	2
	水道使用后、蛇口を閉める	全学年	節水	水道の出っぱなしはなく、水の無駄づかいもなかった。	3
	教材や運動用具などを大切に使う	全学年	省資源	保健委員が清掃用具を点検し、修理して使っている。	3
捨てるごみを減らす活動	牛乳パックを開いてきれいに洗いリサイクル	全学年	リサイクル	牛乳パックだけでなくストローや袋も分別した。	3
	古紙回収ボックスを教室に置きリサイクル	全学年	ごみの減量及びリサイクル	プラスチックも分別できるとなお良かった。	2
その他(自由)	エコキャップ回収運動	全学年	ごみの減量及びリサイクル	地域をまわって回収し、ごみの減量リサイクルのPRもできた。	3

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名: 茅ヶ崎市立鶴が台中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	自然観察会	1年	身近な自然を見つめる	里山公園・清水谷をグループで観察した	3
	海辺の観察会	2年	海辺の生き物を知る	荒崎海岸で磯の生き物を観察した	3
	茅ヶ崎市の自然	1年	身近な自然を知る	講演会を実施した	3
	花壇の手入れ	全校	花を育て環境整備・美化に努める	ボランティアを募り、植え替え、水やりを行った	3
	緑のカーテン	全校	節電意識を共有する	ボランティアを募り、水やりゴーヤの収穫を行った	3
電気・水・物を大切に使う活動	節電シールの活用	全校	節電意識を共有する	生徒会本部役員がスイッチにシールを貼る	3
	節電ポスターの掲示	全校	電気使用量を減らす	校内に掲示	3
	節水運動	全校	水の使用量を減らす	生徒会が呼びかけ運動	3
捨てるゴミを減らす活動	エコキャップ運動	全校	ポリオワクチンの寄付に貢献	生徒会が呼びかけ運動	3
その他					

* 評価点: よくできたー3

大体できたー2

あまりできなかったー1

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立浜須賀中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目 的	実施状況	評価点
環境についての学習	浜池に関心を持つ	全	自然環境について関心を持って観察し学習する	興味を持って観察する。	2
	花壇づくりや水やりを行う	全	自然環境について関心を持って観察し学習する	水やりを行う	2
	校内美化に努める	全	校内環境整備	積極的な清掃活動を行う	2
電気、水、物を大切に使う活動	節電に努める	全	省エネに努める		2
	節水に努める	全	水資源の保護		2
	物を大切にする	全	省資源に努める		2
捨てるごみを減らす活動	ごみの減量	全	資源ゴミとの分別		2
	ごみの減量	教員	印刷やコピーの無駄をなくす		2
そ の 他 (自由)	エコキャップ回収運動	全	環境美化 ワクチンの寄附		2

※ 評価点： ・よくできた－3 ・大体できた－2 ・あまりできなかった－1

(様式5)

全校環境活動報告書

平成25年度

学校名：北陽中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	身近の環境問題について学習する。	1年 3年	環境について学習し、自然を大切にする心を育てる。	環境エネルギー館へ行き学習した。 個人課題に基づき、研究を深めた。	3
	エネルギーについて学習する。	1年	エネルギーについて学習し同時にエコについての見識も深める。	環境エネルギー館へ行き学習を深めた。	3
	家庭での節電、節水について学習し、実践する。	1年	環境問題について関心を持たせる。	環境エネルギー館へ行き学習した。	3
	総合的な学習の時間に自然観察会を行う。	1年	自然を身近に感じる事により、大切にする心を養う。	春、県立里山公園において自然観察会を行った。	3
	レポートを作成し、環境保全の大切さを学習する。	1年 3年	環境保全を推進するための問題について学習する。	総合的な学習の時間を使って、諸施設を訪問しレポートを作成した。	3
	図書委員会で環境に関する図書の紹介を行う。	全校	環境問題についての周知、啓発活動を行う。	図書室を有効利用し、環境問題への理解を深めた。	3
電気、水、物を大切に使う活動	使っていない教室やトイレなどの電気をこまめに消す。	全校	電気使用量を減らし、CO ₂ を削減する。	廊下の常時消灯やこまめな消灯を実践した。	3
	水道の蛇口をしっかり閉める。	全校	水の使用量を減らす。	学級指導を通して全校生徒に意識をさせた。	3
	ストーブの使用室温を下げる。	全校	資源を大切にし、CO ₂ 削減を実施する。	衣服による調節を心がけさせ、灯油使用量削減に努めた。	3

捨てる ごみを 減らす 活動	印刷やコピーの無駄をなくす。(両面印刷の励行)	全校	資源を大切にする。	裏面印刷を励行、実践した。	3
	捨てるゴミとリサイクル資源をきちんと分別する。	全校	ゴミの有効活用へ向けて分別方法を学び実践する。	ゴミの分別に取り組んだ。	
	エコキャップ活動の実施	全校	ポリオワクチンの寄付及びゴミ削減によるCO ₂ の削減を行う。	生徒会本部役員を中心にエコキャップの回収に努めた。	3
	側溝の土砂の利用	全校	ゴミの減量を行う。	放射能の関係で側溝の作業をしなかった。	1
	落とし物を減らすよう呼びかける。	全校	ゴミの減量を行い資源を大切にする。	学級委員会等が各クラスに呼びかけた。	2

(様式5)

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立中島中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球の環境について学習する	全校	環境学習	保健と社会を使って学びを深めた	3
	エネルギーについて学習する	全校	環境学習	保健と社会を使って学びを深めた	3
	リサイクルや廃棄物について学習する	全校	環境学習	保健と社会を使って学びを深めた	3
電気、水、物を大切に使う活動	教室やトイレの電気をこまめに消す	全校	節電	チャレンジデーを数回設け、意識づけを行った。日々の生徒会の見回り	3
	水道の蛇口をきちんと閉める	全校	節水	チャレンジデーを数回設け、意識づけを行った。日々の生徒会の見回り	3
	両面印刷・裏紙利用の励行	全校	省資源	日々の呼びかけ	3
捨てるごみを減らす活動	紙はゴミをとせず資源を回す	全校	省資源・リサイクル	日々の呼びかけ・ポスター掲示	3
	ゴミの分別を確実に行う	全校	省資源・リサイクル	日々の呼びかけ・ポスター掲示	3
その他(自由)	ペットボトルのふたを集め役立てる(ワクチン)	全校	貢献活動	生徒会の呼びかけ	3

評価点： ・よくできた 3 ・大体できた 2 ・あまりできなかった 1

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

平成 25 年度

学校名：茅ヶ崎市立円蔵中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目 的	実施状況	評 価 点
環境についての学習	地球環境学習（川や谷の自然観察、防砂林の保全）	1 年	観察や体験をすることで環境について関心を持つ。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地球環境美化学習（下水処理・水道・資源物の再生の学習、エコクッキング体験）	1 年	自然環境の保全がどのようにされているかに関心を持つ。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地球環境学習（川の調査、自然観察、竹林の手入れ、樹木のはたらき、川のはたらき）	2 年	体験、学習をすることで環境について関心を深める。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地球環境学習（自然観察～清水谷、里山公園）	2 年	自然環境の保全について考えを深める。	関係団体の協力により、多くの成果を上げた。	3
	地域環境美化活動（「きれいきれいマンデー」～登校しながらのごみ拾い）	全学年	放置されたごみについて関心を持つ。	生徒会本部を中心に働きかけている。取り組みも増えている。	3
	地域環境美化活動（「えくぼの日・小えくぼの日」～地域のごみ拾い、草むしり、花壇の整備等）	有志	自分にできることを率先して行い、ボランティア精神を学ぶ。	毎回 100 名を超える参加者があり、充実した取り組みとなっている。	3
電気、水、物を大切に使う活動	明るさを考え、教室や廊下の電気をこまめに消す。（減CO ² 大作戦）	全校	電気使用量を減らしCO ² を削減することで地球環境を考える。	節電のため、廊下・教室の蛍光灯を取り外している。	3
	使用していない教室の電気を消す。（減CO ² 大作戦）	全校	電気使用量を減らしCO ² を削減することで地球環境を考える。	使用していない教室や廊下などの電気を意識して消している。	2
	水道を使った後蛇口をきちんと閉める。	全校	水の使用量を減らす。	ポスター等を作成し、周知に努めている。	3
	印刷やコピーの無駄をなくす。	全校	資源を大切に使う。	意識化されている。	2
	プリントなどをごみとして出さない。	全校	ごみの減量。	意識化されている。	2
	落とし物を減らす。	全校	ごみの減量。	長期休業前に呼びかけしている。	2
	エコキャップ運動を継続して行っていく。	全校	ポリオワクチンの寄付とごみ減量によるCO ² の削減。	取り組みとして定着・成果をあげている。	3
捨てるごみを減らす活動	ごみの分別収集（捨てるごみとリサイクル資源を分別する。）	全校	ごみの減量とリサイクル	日常的に取り組んでいる。	3

※評価点： ・よくできた 3 ・大体できた 2 ・あまりできなかった 1

全校環境活動実施報告書

平成25年度

学校名：茅ヶ崎市立赤羽根中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目的	実施状況	評価点
環境についての学習	学校の周辺の自然について調べる（理科）	1	身近な動植物の存在を知る	1年生の理科で実施	3
	水質の維持について考える（理科）	1	水溶液から全ての溶質を取り出すことが困難であることを知る	1年生の理科で実施	3
	水資源の循環について学習する（理科）	2	雲ができ雨が降るしくみの発展として考えさせる	2年生の理科で実施	3
	エネルギー資源について調べる（理科）	3	限られたエネルギー資源の有効利用を考える	3年生の理科で実施	3
	自然の恩恵や自然災害について知る（理科）	3	自然界に人間が正しくかわっていくことの大切さを知る。	3年生の理科で実施	3
	健康と環境（保健体育）	2	空気、水、生活排水やゴミ処理について考える	2年生の保健の授業で実施	3
	サツマイモの栽培（総合的な学習の時間）	1	栽培をとおして自然環境と食について考える	1年生の総合的な学習の時間で実施した。植え付け、水やり、収穫、試食を行った	3
電気、水、物を大切に使う活動	照明をこまめに消す	全	電力消費を抑える	生徒会を中心に呼びかけを行った	2
	水道の蛇口をしっかりと閉める	全	水の使用量を抑える	清掃時を中心に水の使用を少なくし、蛇口をしっかりと閉める習慣を推進した	3
	文房具を最後まで大事に使う	全	資源を大切に使う	遺失物展示用の棚等を用いて、生徒に戻しやすくした	2
捨てるごみを減らす活動	印刷物の裏紙を再利用する。（再利用であることが分かるスタンプを利用）	職員	紙の使用量を抑える	印刷ミスや使用済みの紙を所定の場所に集めて再利用した	2
	基準服のリサイクル	全	卒業等で不要になる基準服が、廃棄物になることを少なくする	保護者会を中心に回収し、学校行事等で展示・配付	3
	インクカートリッジ・エコキャップの回収	全	廃棄物を少なくする	厚生委員会がインクカートリッジ・ペットボトルのふた（エコキャップ）を集め、事業者に回収してもらった。	3
その他（自由）	環境美化活動	全	校舎内の清掃、ワックスがけ	全生徒が積極的に取り組めた	3
	緑化運動	全	緑の羽根募金	厚生委員を中心に全校で取り組めた	2

(様式 5)

全校環境活動実施報告書

平成 2 5 年度

学校名：茅ヶ崎市立萩園中学校

取り組み項目	主な活動内容	実施学年	目 的	実施状況	評価点
環境についての学習	地球環境学習 (理) 水の中の生物	1 年 理	観察や体験をすることで環境について関心を持つ。	授業で扱い、それなりの成果をあげている。	2
	地球環境美化学習 (下水処理・水道・資源物の再生の学習、里山、小出川)	1 年 総合	自然環境の保全がどのようにされているかに関心を持つ。	関係団体の協力により、多くの成果をあげた。	3
	地球環境学習 (川の生物、自然観察、樹木の働き、川の働き) (理) 食物連鎖、ビオトープ	3 年	体験、学習をすることで環境について関心を深める。	授業で扱い、それなりの成果をあげている。	2
	地球環境学習 (理) 大地の成り立ち	1 年	自然環境の成り立ちと保全についての考えを深める。	授業で扱い、それなりの成果をあげている。	2
	クリーン整美萩中 (校舎内) 前後期 1 週間ずつ	全校	放置されたごみについて関心を持つ。	生徒会本部役員と美化委員会が中心になり実施した。	1
	地域清掃 (部活ごと) 地域のごみ拾い	全校	自分にできることを率先して行いボランティア精神を学ぶ。	部活ごとに地域の方々との協働作業で実施し、成果をあげた。	3
電気、水、物を大切にする活動	明るさを考え、教室や廊下の電気をこまめに消す。 (減CO ₂ 大作戦)	全校	電気使用量を減らしCO ₂ を削減することで地球環境を考える。	その日の天候によって、教室や廊下の電気をつけたり消したりし、多くの成果をあげた。	3
	水道を使った後 蛇口をきちんと閉める。	全校	水の使用量を減らす。	保健委員会がポスターを掲示したり周知に努めた。	2
	印刷やコピーの無駄をなくす。プリントなどをごみとして出さない。	全校	資源を大切にすること。ごみの減量。	意識化されているが、十分成果が表れてはいない。	2
	みどりのカーテン夏場(生徒会)校舎内の温度を下げる、過ごしやすい工夫。	全校	エコを考えた教室環境を整え、自分たちで過ごしやすい環境を作る。	地域の方々との協働作業でゴーヤとヘチマのカーテンを作ったが、校舎内の室温を下げるまでには至らなかった。	2
捨てるごみを減らす活動	エコキャップ運動	全校	ペットボトルのキャップを回収しポリオワクチンを十分寄付する。	取り組みとして定着し、地域の方々の協力も得られ成果をあげている。	3
	ごみの分別収集 (捨てるごみとリサイクル資源を分別する。)	全校	ごみの減量とリサイクルを行う。	日々取り組んでいるが、なかなかゴミの減量に結びついていない。	1

※評価点： ・よくできた：3 ・大体できた：2 ・あまりできなかった：1